

宮城県高齢者人口調査の結果について

1 調査の目的

この調査は、県が策定している「宮城県高齢者福祉計画」等、各種施策推進の基礎数値として活用するため、県における高齢者人口の動向等を把握するものである。

2 調査の主体 宮城県

3 調査の方法 各市町村の住民基本台帳を基に各市町村で調査した数値を集計。

4 調査時点 平成30年3月31日現在

5 調査結果の概要

(1) 高齢者人口（65歳以上）の状況……………表1

高齢者人口は619,555人となっており、総人口が0.3%減少したのに対し、高齢者人口は2.1%増加している。

(2) 高齢化率（総人口に対する65歳以上の割合）の状況……………表2-1

高齢化率は26.9%で前年と比較して0.6ポイント上昇している。

【参考】全国の高齢化率は27.7%（平成29年10月1日現在）

① 広域圏別高齢化率の状況……………表2-2

高齢化率が一番高いのは栗原圏域(37.8%)で、次いで気仙沼・本吉圏域(36.4%)、登米圏域(32.9%)、仙南圏域(32.2%)、石巻圏域(31.3%)、大崎圏域(30.6%)、仙台圏域(23.9%)となっている。

② 市町村別高齢化率の状況……………表2-3

高齢化率が一番高い市町村は七ヶ宿町(47.1%)、次いで丸森町(39.3%)、山元町(38.9%)、女川町(38.5%)、栗原市(37.8%)の順で、県内半数以上の21市町が30%を超えている。

一方、高齢化率が一番低い市町村は、富谷市(19.0%)で、次いで大和町(21.4%)、利府町(21.6%)、名取市(21.8%)、仙台市(23.3%)の順となっている。

(3) 在宅のひとり暮らし高齢者（65歳以上）の状況……………表3

在宅ひとり暮らし高齢者数は116,632人で、65歳以上の人口に占める割合は18.8%となっている。